

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271401178
法人名	社会福祉法人 朝日福祉会
事業所名	グループホーム花応園
所在地	〒859-1301 長崎県雲仙市国見町神代甲952 (電話) 0967-65-3200

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価機構		
所在地	〒855-0801長崎県島原市高島町2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年10月16日	評価確定日	平成20年12月2日

【情報提供票より】(H20年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13 年 5 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	7 人 常勤 7 人, 非常勤 人, 常勤換算 4.7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費	実費・水道光熱費1日100円	
敷金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	0 円
	または1日あたり		900円	

### (4) 利用者の概要( 4 月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	80 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛野記念病院・佐藤医院・堺歯科
---------	-----------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

海を臨み、緑に囲まれた風光明媚という言葉がふさわしい立地条件のもと、整備された芝生が広がる敷地内にデイサービス・高齢者生活支援ハウス・保育園といった同法人の施設の並びに当ホームがある。明るく開放的な食堂、リビング、キッチンを中心にホーム内は十分なスペースがとられ、生活機器、防災設備においても充実している。整備された環境とゆとりある広さの中で印象的なのは利用者と職員、職員間それぞれの豊かなコミュニケーションである。笑顔と会話の絶えない食卓の光景や、小さな気づきでも伝え合う職員間の連携に、このホームの特色がうかがえる。高齢者とその家族、子供達へ、生き生きのびのびと快適な暮らしの提供を誠意をもって目指されるという法人理念のもと、地域福祉の拠点として関連施設と共に期待されているホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートを作成し、災害対策、地域密着型サービスとしての理念に関して取り組んだが、継続中であり、まだ取り組みに至っていない改善課題もあった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で取り組んでいる。全項目に各自で目を通し、項目をグループ毎に分担して気づきを挙げてまとめていくという方法で取り組んだ。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、家族代表、民生委員、市職員、施設長、管理者、職員を構成メンバーとして開催している。利用者の状況、ホームの活動報告、自己、外部評価の報告がなされ、会議参加者から意見をいただきホームの運営に反映させている。昨年来、開催通知がなされているにもかかわらず諸般の事情により行政代表としての市職員の会議欠席が続いており、会議の持つ役割の重要性を考慮し対応を検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	意見箱を玄関に設置している他、家族の来訪時には利用者の様子を伝えながら、遠慮なく意見要望が言っただけのような関係作りにも努めている。年2回、豚汁会と団子汁会を催し、家族を招いて和やかな交流の場を提供し、意見傾聴の大切な機会としている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	敷地内に隣接するデイサービスは地域の馴染みの方の利用が多く、交流が日常的に行われ合同行事によるふれあいもなされている。同様に法人内保育園の夏祭り、運動会といった行事にも園児の家族が多く訪れ、敷地内の高齢者生活支援ハウス、高齢者賃貸ハウスの利用者など地域福祉の拠点とし、利用者は地域との交流がなされている。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	6項目からなる法人理念をホームの理念としており、職員間では『明るく、楽しく、生き生きと』を共通解釈として日々のケアに徹底するよう努めている。今後課題として挙げている地域とのつながりを、従来からの理念の解釈に加えて端的な文言でスローガンとして掲げられるよう検討にあたる予定である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者、家族がその人らしくのびのびと暮らせることで喜びを持っていただけるよう、誠心誠意努めるという6項目の理念の文言は、玄関や居間の目につきやすい場所に掲示して、職員へ啓発を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地内に隣接するデイサービスへは地域の馴染みの方も多く、交流が日常的に行われ合同行事によるふれあいもなされている。同様に保育園の夏祭り、運動会といった行事においても園児の家族が多く訪れ、地域の福祉の拠点として地元の人々との交流がなされる。地域老人会の活動は清掃奉仕、ゲートボールなど活発な活動が主であり、入居者の状態から参加は難しいと判断している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で取り組むこととしている。項目全体に夜勤時などに目を通しておくようにして、職員会議において項目を手分けしてグループで分担し、気づきを挙げまとめていった。改善点に関しては職員会議において話し合い、全員で改善に向けた取り組みに努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、家族代表、民生委員、市職員、施設長、管理者、職員を構成メンバーとして開催している。入居者の状態、活動状況の報告、外部評価の報告がなされ意見をいただいている。昨年度より、開催通知がなされているが諸般の事情による市職員の会議欠席が続いており、会議の持つ役割を考え対応の必要が検討されている。		昨年度よりの概ね2ヶ月に1回開催の法的義務付け及び運営推進会議のもつモニターとしての重要な役割のついて、行政に対して再考を促し継続して参加働きかけされていくことに期待したい。書記の設置により会議録を整備し、欠席の場合は後日会議の内容を文書として送付報告して参加への意識付けもなされていくことが望ましい。

グループホーム 花応園

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、特に報告相談などが必要な事案、問題がなく必要性を感じていないのが現状である。まずは運営推進会議において協働を図っていくことを検討している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1回、「花応園だより」を郵送し、活動報告と行事の案内などがなされている。「たより」の下部に余白をもうけ、入居者に対する担当職員から個別の近況報告が書き加えられるようにしてあり、家族来訪時の口頭での報告はもちろん丁寧な取り組みがなされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している他、家族訪問時には意見等うかがうことが出来るような関係作りに努めている。年2回、豚汁会、団子汁会を催し家族を招いて和やかな交流の場を設け、意見傾聴の機会としている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、入居者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、職員の異動等はほとんどなかったが、今年度は若い職員の希望、目標を支援する形で離職、異動があった。入居者への影響に配慮し引き継ぎを含め異動の時期をずらしたり、新任の職員と早く統一したケアにあたることができるよう職員同士のコミュニケーションが図られている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者も相互理解のもと、管理者が若い職員に資格を得ること、学びの大切さを伝えている。研修会参加希望者には受講を勧め、試験対策や介護知識についての月刊誌を紹介し事業所で購入、閲覧するなどの取り組みがなされている。内部研修においては、会議以外での時間がとれず開催する機会が少ない。		日々のサービスの質の向上を図り、職員の統一したレベルアップとして、事例検討などを通じた内部研修会の定期的な計画、実施に期待したい。また内部・外部研修の際は研修記録(日時・参加者・研修内容等)を作成、資料と共にファイリングして整備され、伝達講習もなされていくことに期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年度に引き続きネットワーク参加による同業者との交流を図ることを課題としてきたが、法人間や管理者の個人的な知己である事業所に、書類等での質問で連絡しあうこともあるが、交流として発展には至っていない。		交流の機会を何うばかりでなく、まずは近隣の知己の事業所に協力をあおぎ、入居者と外出の折の少しの時間を利用して訪問や合同行事の計画働きかけなど、職員交流、勉強会の実現に向けて当ホームからの積極的な取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の入居者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>法人内のデイサービス利用からの移行が多く、行き来もあることで、日中ホームで過ごしていただいたりと違和感なく馴染んでいただくことがほとんどである。利用開始されてからは馴染みの身の回りの物を持ちこんでいただき、昼夜逆転が続くことなどがあってもなるべく薬を使わずゆったりと見守り安心していただいている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の時間を中心に日中ほとんどの入居者が居間や食堂で過ごす中で、職員と入居者の会話や笑い声が絶えない。そんな中で、共に家事をしながら調理法について職員が入居者に尋ねたり、方言について話してその相違について笑いあったりと和やかな雰囲気に包まれている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を導入し、入居時に家族記入を依頼している。入居者の態度、会話により本人の希望を察知できるよう心がけ、家族との情報交換により本人の現状を理解できるように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる入居者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員会議において、職員間での意見交換や業務日誌などの記録、本人、家族の要望があれば介護計画作成時に考慮している。書式に本人・家族の意向の記入欄や家族の確認の記入が不足している。</p>		<p>介護計画書において、本人と家族の意向の欄が書式として設けられておらず、主訴が確認できない。入居者主体の暮らしを反映した介護計画となるよう検討が望まれる。また、計画書の家族の確認、同意欄の署名、捺印、日付を漏れなく頂くことが望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の短期目標設定は3ヶ月としている。アセスメント・日々の記録を活用して、入居者の状態変化に伴い、職員間で話し合いながら柔軟に対応した計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内のデイサービスとの往来は密にあり、行事等の参加も多い。週に1回、デイサービス施設から理学療法士の訪問指導があり、リハビリ体操をする支援もある。通院、外泊支援もなされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者それぞれにおいて、かかりつけの主治医による受診への継続した支援がなされている。受診結果は状況に応じて受診記録あるいは電話にて家族へ伝えられている。事業所の提携医による月1回の往診、年1回の健康診断もなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	調査日の前月にお亡くなりになられた入居者の場合は、本人家族のその時点での希望があり、ホームにおいて提携医の協力のもと職員も支援に努めた。医療面を考慮し病院へ移されたが、重度化、終末期をあらためて考える機会となった。昨年来の課題となっている重度化、終末期に関する指針などの文書化は、まだ取り組まれていない。		これから状況に応じて家族と話し合いながら支援をされていく中で、重度化、終末期に対するホームの方向性を事業所としての能力の把握と共に職員全員で話し合い、その方向性を決定し文書化されておくことが望ましい。更に今回のように重度化へ対応支援された経緯も記録として残され、今後の参考としていかれる取り組みにも期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「たより」の写真掲載、事業所内の行事写真の掲示の際は、家族のみ或いは他の方も見られるもので写真の内容に注意、配慮している。又、言葉かけに関しては、親密さが時に礼儀を失うことはないかと、家族に気づきがあれば指摘いただくようお願いし、状況に応じて必要な言葉かけにも了解をいただいている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかな流れや行事は決めてあるが、入居者それぞれに合わせた入浴の時間帯の選択ができ、食事も各自のペースを大切にしながら食後の後片付けまで会話を楽しみながら、ゆったりと過ごす支援がなされている。出来る限り日中は皆共に活動的に過ごしていただくようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家事を好まれ積極的にされる入居者には、火を扱う以外の炊事、後片付けを手伝っていただき、調理の下拵えなども坐って出来るかにも参加し手伝っていただいている。食事の前には、視覚障害のある方にも配慮されその時の献立が職員より説明がある。また、調査当日の昼食の際は、入居者と職員との会話が絶えない楽		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	失禁のあられた際の清潔保持にも配慮し、快適に過ごしていただくために午前、午後と好きな時間帯にいつでも入浴可能である。広めの浴室で仲の良い入居者同士共にお湯を浸かるのを楽しむこともある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	年間計画をたてて毎月季節に応じた行事を催し、入居者、家族に好評である。誕生日には好物(羊羹、饅頭など)で、職員手作りのパースデーケーキでのお祝いを入居者は楽しみにしている。洗濯物たたみ、茶碗拭きなど役割を担っていただくよう努め、月1回の大掃除では視覚障害のあられる方には窓拭きを手伝っていただき全員でおこなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	服などの身の回りの買い物は家族の支援で行かれているが、日常使う箸、茶碗などの買い物には買い物に出かけ本人に選んでいただいている。敷地内を散歩したり、デイサービスに出かけられる日常の外出は常時希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室、玄関は施錠されていない。玄関はチャイムなどもなく、敷地内や法人内施設を散歩される入居者が自由に入出入りされている。出られた際は職員や他施設職員のさりげない見守りにおいて安全が守られている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難用スロープ、スプリンクラー、火災報知設備などが整備されており、消防署立会いの訓練の他、毎月自主訓練を実施し、チェックリストも作成している。隣接する法人内関連施設とも連携を確認しあっている。又、非常時に活用できる水タンクの設置がある。		自主訓練に夜間想定を取り入れ、更なる訓練内容の充実を図られ記録に残される取り組みが望まれる。また、地震、風水害に関するマニュアルの整備と、自主訓練の内容の確認も含め消防署等関係機関にも協力をあおぎ取り組んでいかれることに期待したい。

グループホーム 花応園

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は関連施設の栄養士がたててあり、食材が届けられるとその時の入居者の状態、嗜好も加味しながら薄味に心がけ調理、提供されている。入居者それぞれに応じた形態、量の配慮もなされている。摂取水分量は、1日1,500ccを目安に夏場は多めに摂っていただくよう心がけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、入居者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂、居間、台所とつながった空間は広々としており、浴室、トイレも十分なスペースがとられている。眺めがよく明るい日差しがそそぐ大きな窓側には、食堂のテーブルが配置され、楽しい食事のひと時を過ごすことができる。居間のテレビ、ソファは、入居者間の関係や視線などに配慮しながら時に配置を変えて工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃きだしの窓が大きくとられ、角部屋は二面の窓といずれも風通しがよく明るい居室には、クローゼットと洗面台が備え付けてある。入居者の状態に配慮しベッド、ユニット畳敷きに布団と各々の対応がなされ、持ち込みの家具、調度品もある。観葉植物や写真など本人への家族の思いが伺える持ち込みも多くみられた。		